

明知神明宮にてお宝発見！！

平成17年に明知下の区誌で明知神明宮の棟札が公開されましたが、今回他にも棟札が22枚神明宮で発見されました。桐の木箱に納められており、蓋の裏には昭和17年4月29日、社掌大島金作謹書と書いてあります。



こちらがその棟札全22枚です。
上段が表、下段が裏です。



この中で一番古い棟札はこちら。
寛永12年(1635)に天照大神を祭る社を建設した際のもの。

他にも、元文5年(1740)に伐渡八幡社、天保7年(1836)金毘羅社を再建したという棟札もあります。

また、建立に関するもの以外、修理に関するもの、祈願に関するもの、祭神を追加したものなど多様です。現在一枚一枚のいわれについては、廣瀬裕久さんが解析中です。

今回発見された棟札を、前回公表されたものと合わせて、下記のとおり初詣に合わせて、展示公開されます。区民の皆さんには是非ともご覧いただきたく、明知神明宮にお越しください。

公開日 令和4年1月1日(土)・2日(日)・3日(月)
※ 1月2日(日)は、廣瀬裕久さんも参加されます。

時間 午前9時30分～正午

場所 明知神明宮 松・竹・梅の間

